

平成28年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

平成28年度事業報告目次

1	総括概要	2
2	サービス区分報告	
	＜社会福祉事業＞	
	法人運営事業及び決算額	3
	地域福祉活動事業及び決算額	5
	共同募金配分金事業及び決算額	16
	社会福祉基金事業及び決算額	19
	資金貸付事業及び決算額	19
	生活福祉資金貸付事業及び決算額	20
	地域福祉ネットワーク事業及び決算額	20
	外出支援サービス事業及び決算額	22
	配食サービス事業及び決算額	22
	ふれあいサロン事業及び決算額	23
	居宅介護支援事業及び決算額	24
	居宅介護等事業及び決算額	24
	障害福祉サービス事業及び決算額	25
	指定管理事業及び決算額	25
	＜公益事業＞	
	地域包括支援センター事業及び決算額	27
	デマンド交通運営事業及び決算額	29
	＜その他＞	
	日本赤十字社活動と共同募金活動	30
	その他の支援活動	31

平成28年度 事業報告

【総括概要】

町と相互に地域福祉の推進を図るため平成27年度から2ヵ年かけて実施した町民のニーズ把握のためのアンケートや地域懇談会、福祉関係団体のヒアリング調査などで出された様々な課題等を分析し、また、計画策定委員の専門的な見地から、計画の方向性や内容等について検討・協議を行い、『野木町地域福祉計画（町）・地域福祉活動計画（町社協）』を一体的に策定しました。

今後は、本計画の基本理念である「支えあい ともに生きる 笑顔あふれるまちづくり」に基づき、地域住民の地域福祉の実現を目指していきます。

事業においては、住民参加型ふれあいサービス事業等の住民参加活動を促し、個別支援に着目するなど、既存の事業内容の整備や見直し・検討を行いました。

また、各地で多発する自然災害に対応するため、社会福祉協議会職員他、関係機関やボランティア団体等との連携のもと、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを基に、大雨水害を想定した災害ボランティアセンターシミュレーション訓練を行いました。今後も継続した訓練での課題・教訓を踏まえ、起こりうる災害に備え、関係機関と密接な連携を図りながら「人」「物」「資金」についての体制や運営基盤づくりを進めていきます。

次に介護保険事業、障害者総合支援事業においては、常に利用者本位のサービスの提供に努め、要介護・要支援状態（予防）にある高齢者等が、可能な限り在宅で自立した日常生活を営むことができるよう、居宅介護支援・訪問介護事業のサービスの質の向上に努めました。

また、地域包括支援センターにおいては、高齢者の総合相談事業に加え、平成29年度から実施される町の「介護予防・日常生活支援総合事業」（新しい総合事業）開始に向け、地域包括支援センターの運営充実はもとより、在宅医療・介護連携による地域ケア会議への参加や、近年急増する認知症問題に対応すべく、認知症初期集中支援チーム員としての体制作りの検討・準備を整えてきました。

今後とも、「誰もが安心して住みなれた地域で暮らしていけるまちづくり」を目指し、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスの充実をすすめるとともに行政や様々な分野における各関係機関、団体等との連携を図りながら、地域住民と共につくる福祉社会の実現に努めます。

■法人運営事業及び決算額

【41,221千円[38,893千円】

1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡・調整を図り、適正な法人運営の推進と事務事業の執行を期した。

2 主要な施策

(1) 理事会・評議員会・監査会

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

①理事会の開催（事業計画・報告、予算・決算他の承認及び認定）

第1回理事会（平成28年4月7日開催）		
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長（代表理事）・副会長の選任について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長職務代理者の指名並びに特別代理人の選任について

第2回理事会（平成28年5月25日開催）		
議案	第1号	平成27年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業報告の認定について
	第2号	平成27年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計決算の認定について
	第3号	平成27年度栃木県共同募金会野木町支会事務費会計並びに寄付金会計決算の承認について
	第4号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の一部選任について

第3回理事会（平成28年10月24日開催）		
議案	第1号	野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について
報告	第1号	ふくしのつどい2016の開催について

第4回理事会（平成28年12月12日開催）		
説明	社会福祉法人制度改革について	
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会定款の一部変更について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

第5回理事会（平成29年2月24日開催）		
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会諸規程の改正について

第6回理事会（平成29年3月23日開催）		
報告	第1号	野木町社会福祉協議会専決処分事項の報告について
議案	第1号	平成28年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	平成29年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	平成29年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第4号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について
	第5号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会諸規程の改正について

②評議員会の開催（事業計画・報告、予算・決算他の承認）

第1回評議員会（平成28年5月26日開催）		
議案	第1号	平成27年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業報告の承認について
	第2号	平成27年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計決算の承認について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会理事・監事の一部選任について

第2回評議員会（平成28年12月13日開催）		
説明	社会福祉法人制度改革について	
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会定款の一部変更について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
	第4号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会理事の一部選任について

第3回評議員会（平成29年3月24日開催）		
報告	第1号	野木町社会福祉協議会専決処分事項の報告について
議案	第1号	平成28年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	平成29年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	平成29年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第4号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会諸規程の改正について

③監査会の開催（事業、会計他法人運営に係る監査）

監査会（平成28年5月16日開催）	
内容	平成27年度野木町社会福祉協議会事業及び会計に関する監査について

④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（平成29年3月23日開催）	
議事	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の選任について

(2) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

(3) 会員増強

社会福祉協議会活動の理解を得ることに努めるとともに会員の増強を推進した。

町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績
特別会員	53	44	45	59,000	57,000	54,000
普通会员	6,212	6,211	6,288	3,104,700	3,115,614	3,144,000
寄付	459	438	423	129,922	130,110	125,670
賛助会員	45	45	41	231,000	240,000	215,000
合計	6,769	6,738	6,797	3,524,622	3,542,724	3,538,670

(4) 福祉サービスの適正運営

野木町社会福祉協議会における苦情解決に関する規程に基づき、利用者からの苦情に適切に対応し、利用者が安心してサービスを利用できるよう、運営事業ごとに苦情解決担当者を配置するとともに、第三者委員を委嘱し、その権利を擁護した。

・苦情解決委員会の開催

開催日	内容	出席者(名)
4月22日	・社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業概要説明 ・苦情解決委員会概要説明 ・県苦情受付状況等	委員 3 苦情解決担当職員 6
第三者委員構成／人権擁護委員 1・民生委員児童委員 1・保健師 1		

苦情受付数 0件

■地域福祉活動事業及び決算額

【2,240千円[2,151千円]】

1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行った。また、判断能力が不十分な高齢者や障がい者の方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等の支援を行った。

2 主要な施策

(1) 地域福祉活動計画策定事業の実施【重点施策】

『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』の策定し、地域住民と関係機関・団体・社会福祉事業者・行政、社会福祉協議会が連携して、地域の課題を解決していく新たな支え合いの仕組みづくりに努めた。

①関係団体ヒアリング調査の実施

福祉関係の施設・事業所等からの課題や要望、利用者のニーズや意向を把握するための調査を実施した。

調査対象	町内の福祉関係施設・事業所
調査期間	平成 28 年 3 月 14 日～4 月 28 日
回答者	高齢者福祉関係：13 名（利用者 6 名、職員 7 名） 障がい福祉関係：2 名（利用者 2 名） 幼稚園・保育所：42 名（利用者 22 名、職員 20 名）

②策定委員会の開催

野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会を開催し、計画策定の検討・協議を行った。

開催日	内 容	出席者数(名)
8 月 22 日	・地域懇談会の報告について ・計画骨子（案）について	14
11 月 22 日	・野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）について	15
2 月 21 日	・野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画（最終案）について 講話『住み慣れた地域で安全・安心して暮らすために』 講師 社会福祉士事務所「風のささやき」代表 永島 徹氏	14



③パブリックコメントの実施（町実施）

地域福祉を推進するための理念・仕組み並びに実践的な計画を策定するにあたり、計画案の公表と町民からの意見を求めた。

募集期間	平成 29 年 1 月 17 日～2 月 16 日
閲覧方法	町町民生活部健康福祉課又は町ホームページ

意見はなし

(2) 災害ボランティアセンター設置に係る整備・訓練の実施【重点施策】

災害時におけるボランティア活動対応を迅速・効果的に行うため、資機材の整備や災害ボランティアセンターの運営に関わる町社会福祉ボランティア連絡協議会、町赤十字奉仕団、町ボランティア支援センターの登録災害ボランティアと非常時に備えた合同訓練を実施した。今後も、災害ボランティアセンターのマニュアルをもとに、より現実的な行動がとれるよう努める。

開催日	内 容	参加者数(名)
10月1日	講義「災害ボランティアセンターの概要」 ロールプレイ「災害ボランティアセンター運営訓練」 講師 栃木県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア課 橋本 和重氏 白石 悠太氏 非常炊出し訓練（町赤十字奉仕団）	75

開催日	内 容	参加者数(名)
9月11日	栃木県・県南地区災害対応訓練 （県立栃木翔南高校） ①土のう作成及び設置による応急対策訓練 ②避難所支援訓練 ③応急処置訓練 （AED、止血法、傷病者搬送など）	町社会福祉ボランティア 連絡協議会委員9 町ボランティア支援センター 登録災害ボランティア5 職員6

開催日	内 容	参加者数(名)
1月29日	第1回野木町全町避難訓練における 災害ボランティアセンター設置運営訓練、各避難所炊き出し	職員16 赤十字奉 仕団24



(3) 社会福祉等のボランティア活動支援

① ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町が設置するボランティア支援センター「きらり館」との連携を図るとともに、ボランティア活動が円滑に、継続的に展開されるよう、基盤の整備・情報提供を行った。また、ボランティア活動が安心して行えるよう、活動内容に沿った保険加入を促進し、今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数 (件)			加入者数 (名)		
	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績
ボランティア活動保険	19	15	18	902	961	906
ボランティア行事用保険	27	25	29	4,176	3,537	3,171
福祉サービス総合補償	5	5	4	63	60	57
送迎サービス補償	3	2	3	8	8	9
ふれあいサロン傷害補償	1	1	1	4,080	4,080	4,080
合 計	55	48	55	9,229	8,646	8,223

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数 (件)	H26 実績	H27 実績	H28 実績
		0	2

(整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	録音機	高齢者疑似体験装着具
パソコン	録音 (集積) マイク	アイマスク体験具
点字板	ダビング機	車いす
点字プリンター	スピーチオ (活字文書読上装置)	段差解消スロープ
MD/CD ラジカセ	デイジー (CD 読み取り機)	プロジェクター・スクリーン

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

ボランティアサークル・団体・個人の活動推進のため、活動を行う団体・個人の互いの連携を図り、効果的な活動ができるためのネットワークの場として組織の運営を支援した。今後も、町ボランティア支援センターとの連携のもと社会福祉ボランティア連絡協議会の活動支援に努める。

開催日	内 容	参加者数(名)
4月16日	全体会・全体研修会 ①全体会 ・平成27年度活動報告について (1年間のうごき) ・平成28年度事業計画について ・新役員 (会長・副会長) の承認と委員の紹介について ②全体研修会 『認知症サポーター養成講座』 講師：野木町健康福祉課 川井さゆり氏 ぽんぽこ劇団 (社協職員) 『ハワイアンショー』 講師：三輪傑とサンフラワーズ	83
10月1日	災害時対応シミュレーション訓練 ・災害ボランティアセンターの概要 ・ロールプレイ 「災害ボランティアセンター運営訓練」 講師 栃木県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア課 橋本 和重氏 白石 悠太氏	75

11月10日	委員視察研修会 ・埼玉県環境科学国際センター他	14
定例会の開催（第2木曜日／8日間開催） 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成（委員18名）され全体会・全体研修会、ふくしのつどいの企画、委員視察研修会等について意見交換を行った。		



社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数毎年・毎年度3月31日現在)

	H26実績	H27実績	H28実績	H26実績	H27実績	H28実績
団体数（団体）・（名）	15	15	15	198	186	183
個人ボランティア数（名）				72	76	66

(ボランティア団体)

No.	名称	活動内容	会員数（名）
1	ともしびの会	ひとり暮らし高齢者宅へ弁当を届け友愛訪問（毎月1回）、食事会、お楽しみ会	4
2	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験、講演等含）への参加協力	28
3	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校体験含）への参加協力	13
4	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌、お知らせ版他を録音し、視覚障がい者に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業（小中学校体験支援含）への参加協力、施設での読み聞かせ活動	14
5	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力	7
6	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への参加協力・研修	
7	太極拳「雲手」	各種福祉関係事業への参加協力、高齢者施設での交流活動	24
8	竹林ボランティア	竹林を整備し「筍」取りや「竹とんぼ」など、竹を有意義に活用する活動	7

9	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力	10
10	マンボラⅡ期会	各種福祉関係事業への参加協力、福祉施設での交流活動、学習会	9
11	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力	12
12	野木ひまわり		16
13	のぎコスモス		22
14	YOSAKOI 桜		
14	のぎ町童謡愛好会	地域福祉施設等で童謡を通じて交流活動	
15	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動	17

(ボランティア団体以外の活動一覧)

No.	名 称	活動内容	会員数 (名)
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」を支援し、ひとり暮らしの高齢者宅等に昼食のお弁当を届け、交流を図る活動	43
2	収集ボランティア活動	使用済資源（古切手、プリペイドカード、書き損じハガキなど）を収集整理して関係機関に送付し、発展途上国の福祉に役立つよう活動	
3	送迎ボランティア活動	自力での通学が困難な生徒を自家用車で登下校の送迎をする活動	6
4	施設でのボランティア活動	町内高齢者・障がい者福祉施設・介護施設などで趣味活動支援や話し相手などの活動をしながらか交流を図る活動	
5	事業協力活動 HD体験学習支援活動	福祉事業への協力や町内小中学校やサマースクールでのハンディキャップ体験指導などで活動	

視覚、聴覚障がい者の理解と支援のための必要な専門的技術を取得するために、各種技術講座を開催した。

・福祉（手話・朗読・点訳）講座

講師 手話通訳者 加瀬 明美氏、朗読の会「のぎく」、点友会「のぎ」

講座名	開催日	内 容	受講者数(名)
手話講座 「初心者向け」	10月1日	聞こえていますか？あなたの耳 日常の動き等を伝え合ってみよう	5
	10月8日	自己紹介をしよう 名前の表現、手話と指文字	5
	10月15日	家族を紹介しよう 誕生日、数字の表し方	4
	10月22日	趣味は？ 表情と手の動きで気持ちを表現	4

	10月29日	まとめ（伝え合う楽しさ） 手話サークルの人と体験交流	5
朗読講座 「初心者コース」	10月12日	朗読のための呼吸法、発声・発音	3
	10月19日	声に出して読んでみよう	3
	10月26日	紙芝居、絵本の読み方	4
	11月9日	表現力をつけよう	4
	11月16日	伝わる読み方（情報を読もう）	4
点訳講座 「初心者向け」	10月4日	視覚障がい者への接し方	1
	10月11日	点字の読み方 街中で見る点字	1
	10月18日	点字の書き方 （清音・濁音・拗音など）	1
	10月25日	語の書き方 （数字とアルファベット）	1
	11月1日	分かち書き （点字で自己紹介を書く）	1

・傾聴ボランティア養成講座

講師 NPO 法人風の詩 副理事長 永島 徹氏

開催日	内容	受講者数(名)
10月4日	上手な話の聞き方とは ～傾聴のコツ①～	12
10月11日	上手な話の聞き方とは ～傾聴のコツ②～	10
10月18日	上手な話の聞き方とは ～傾聴のコツ③～	10



・災害ボランティア養成講座

講師 NPO法人とちぎボランティアネットワーク 事務局長 矢野正広氏

開催日	内容	受講者数(名)
9月26日	家庭の防災 非常時持ち出しグッズ 災害時におけるボランティアの役割	26



③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習の推進を図った。

・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校（全7校）
実施した主な活動内容	空き缶回収／一円募金／エコキャップ回収／車いす体験／学校行事の高齢者招待／文化祭等の福祉活動／高齢者・障がい者福祉施設体験／クリーン活動／ふれあい活動／福祉活動の研究発表会／点字・手話の学習／伝承あそび／その他

・協力校福祉体験講座への参加

小学生チャレンジスクール	友沼小学校	10名
	野木小学校	2名
	佐川野小学校	1名
	南赤塚小学校	12名
	新橋小学校	8名
Oneday ボランティアスクール	野木中学校	7名
	野木第二中学校	7名

・協力校事業連絡会議の開催（年3回）

開催日	内容	出席者数（名）
6月16日	・平成28年度事業計画について 野木町社会福祉協議会の福祉教育事業について ・各学校における福祉教育の計画について	11
11月17日	・地域福祉新聞について	8
2月2日	・地域福祉新聞（校正）について	11

・地域福祉新聞（小中学生版）の発刊（共同募金配分金事業）

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内容
2月23日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・ボランティアサマースクール、小学生チャレンジスクール、Onedayボランティアスクールの紹介



・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
6月22日	手話体験学習支援（4年）	佐川野小学校
6月29日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	佐川野小学校
6月30日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	友沼小学校
9月3日	点字体験学習支援	野木第二中学校
10月13日	手話・点字体験学習支援（4年）	南赤塚小学校
10月18日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	野木小学校
10月27日	点字体験学習支援（4年）	野木小学校
11月5日	「文化祭」手話体験学習支援（4年）	友沼小学校
11月9日	手話体験学習支援（4年）	野木小学校
11月28日	人権集会（全校生徒） 講話「盲導犬を育てる」	南赤塚小学校
1月30日	手話・点字体験学習支援（4年）	新橋小学校

また、次世代を担う学童・生徒に対し、福祉・ボランティア活動への理解や関心を高めるため各種ボランティア講座を開催した。

・ボランティアサマースクールの開催（中学・高校・大学・専門学校生徒）

【協力】手話サークル「虹の会」「野和の会」、朗読の会「のぎく」、点友会「のぎ」、宮佳奈子氏、栃木県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 増渕 弘子氏他、日本赤十字社栃木県支部 柏崎 章子氏他、NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 佐々木 清美氏、竹とんぼの会、野木町社会福祉ボランティア連絡協議会委員

開催日	内 容	受講者数（名）
1 日 目 7月25日	・ハンディキャップ体験 （車椅子、アイマスク、高齢者疑似） ・福祉講座（手話・朗読・点字の学習）	高 校 生 7 専門学校生 4
2 ・ 3 日 目 7月26日	・施設交流活動 社会福祉法人延寿会「特別養護老人ホーム 虹の舎」 新橋児童館	高 校 生 7 専門学校生 4
7月27日	・施設交流活動 社会福祉法人パステル「セルプ花」	高 校 生 5 専門学校生 1
7月28日	・施設交流活動 社会福祉法人パステル「セルプ花」	高 校 生 2 専門学校生 3
4 日 目 7月29日	・世代間交流（合同プログラム） 竹細工づくり（器・箸づくり） 流しそうめんとバーベキュー	高 校 生 7 専門学校生 4

・小学生チャレンジスクールの開催（町内在住小学3年～6年生）

開催日	内 容	受講者数（名）
7月26日	・福祉について（DVD学習） ・盲導犬についての話 ・ハンディキャップ体験 （車椅子、アイマスク、高齢者疑似）	33
7月27日	・福祉講座（手話・朗読・点字の学習） ・エコってな～んだ！？ ～未来の地域のことを考え、私たちにできることを楽しく学ぶ～	33
7月28日	・県日赤災害備蓄倉庫見学 ・救急手当について ・車いすバスケットボール体験（実技、講話）	33
7月29日	・世代間交流（合同プログラム） 竹細工づくり（器・箸づくり） 流しそうめんとバーベキュー	33



・Oneday ボランティアスクールの開催（町内在住中学生）

【協力】財団法人東日本盲導犬協会

NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 佐々木 清美氏

開催日	内 容	受講者数（名）
8月5日	・講演会 盲導犬について（訓練実演・体験） ・車いすバスケットボール体験（実技、講話）	中学生 14



(4) 在宅福祉活動

①福祉機材の貸出

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数（件）	H26 実績	H27 実績	H28 実績
		36	56

②ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業【重点施策】

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、住民相互の支え合いによる会員制の生活支援（ゴミ出しや買い物支援など）サービスを提供するため、既存の事業の見直しを図り、ニーズに添ったより効果的な事業の実施に向け、調査・研究を行った。

(5) 日常生活自立支援事業（愛称 あすてらす）

高齢者や障がい者が利用契約型福祉社会の中で、社会的に不利益を被らないよう、その権利を擁護しながら地域で安心して自立した生活が送れるよう支援した。

【実施したサービス内容】

福祉サービスの利用援助：福祉サービスの利用申込みや契約の代理・代行

日常的金銭管理サービス：年金等受領、公共料金の支払い、預貯金の出し入れ代理・代行
書類等預かりサービス：預金通帳・印鑑・各種証書の預かり

【生活支援員数】 登録者 8 名（実サービス提供担当者 5 名）

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数（名）	16	11	11
提供回数（回）	213	195	156

(6) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を支援した。
野木町心身障害児者父母の会	心身障がい児（者）及びその家族を対象に療育・学習活動を推進するとともに、会員相互の親睦を図った。
野木町社会福祉ボランティア連絡協議会（団体・個人含）	活動者相互の交流や情報交換の場の提供やふくしのつどいなどの啓発事業の開催を通してボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時の炊き出し訓練、救急法の習得、高齢者等支援のための健康生活支援講習の普及など、地域における奉仕活動の推進を図る活動を支援した。

(7) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
件数 (件)	18	22	3

■共同募金配分金事業及び決算額

【1,734 千円[1,658 千円]】

1 事業の概要

社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報提供を行った。

(1) 広報・啓発活動

・社協情報誌『ぽけっと』…年4回（4月・6月・10月・1月）発行

号数	発行日	内容
109号	4月21日	平成28年度事業計画・予算、平成28年度ホープ館講座のお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、ボランティア募集のお知らせ、各種ボランティア養成講座予定、赤十字奉仕団員募集のお知らせ、第1回ひとりぐらし高齢者の交流会のお知らせ、善意の寄付他
110号	6月23日	平成27年度事業・決算報告、ボランティア全体会・全体研修会の報告、福祉講座の受講者募集、災害ボランティア養成講座の受講者募集、傾聴ボランティア養成講座の受講者募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、ボランティアサマースクール・小学生チャレンジスクール参加者募集、善意の寄付他
111号	10月27日	平成28年度社協会員・日赤社員実績報告、栃木県・県南地区災害対応訓練、ボランティアサマースクール・小学生チャレンジスクール実施報告、街かどカフェ「すまいる」、男の料理教室参加者募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、ふくしのつどいのぎ2016開催のお知らせ、善意の寄付他
112号	1月25日	ふくしのつどいのぎ2016実施報告、平成28年度赤い羽根共同募金実績報告、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、ボランティア募集、ボランティア活動保険のお知らせ、ふれあいサロンの紹介、第2回ひとりぐらし高齢者の交流会の案内、善意の寄付他

・地域福祉新聞…年1回(2月)発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月23日	友沼小学校	・アイマスク体験 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験 ・手話体験
	野木小学校	・補助犬講座 ・ハンディキャップ体験 ・手話体験 ・点字体験 ・施設訪問
	佐川野小学校	・総合的な学習(高齢者疑似体験、車いす体験、 点字体験、手話体験、アイマスク体験) ・佐川野っ子祭り テープ細工、絵手紙、竹とんぼ作り
	南赤塚小学校	・総合的な学習の時間(手話体験、点字体験) ・人権集会の講話 ・小学生チャレンジスクール
	新橋小学校	・人権週間 ・社会科「昔の暮らし」・生活科「昔のあそび」 ・総合「アイマスク体験」「伝統文化体験」
	野木中学校	・アルミ缶・古紙回収 ・煉瓦窯募金活動 ・虹の舎・和太鼓 ・潤心祭・高齢者接待 ・Oneday ボランティアスクール
	野木第二中学校	・ひまわり荘訪問 ・Oneday ボランティアスクール ・輝光祭ひまわり荘接待
		・手話サークル「野和の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」 ・ボランティアサマースクール、小学生チャレンジスクール、Oneday ボランティアスクールの紹介

・ホームページ…年間公開

アクセス件数(件)	H26実績	H27実績	H28実績
	2,623	4,181	2,362

・ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数(名)	場所
11月26日	◎式典 (表彰者) ・民生委員児童委員及び主任児童委員9名 ・団体及び施設 1団体 ・社会福祉事業協力者等 1団体 (感謝状) 7団体 ◎講演会 「奇跡の復帰“光のステージ”へ ～闘病・ひきこもりを乗り越えた先にあるもの～」 講師 さくらいりょうこ氏	210	野木エニスホール (小ホール)



(2) 高齢者の社会参加

・ひとりぐらし高齢者の交流会の開催

町内在住65歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、民生委員児童委員・ボランティアの協力のもと、社会参加、互いの交流を図った。

開催日	場所	参加者数・内容等
6月2日	富岡製糸場 こんにやくパーク	50名、 協力（町民生委員児童委員5名）
2月22日	ホープ館 （野木町老人福祉センター）	62名、協力（ボランティア5名） ・「ハンドベル演奏」フェアリーベル ・「笑う力は生きる力 みんなで愉しむ女 方玉三郎ショー」女玉三郎一座



(3) 世代間交流事業

季節行事やレクリエーションをとおして高齢者と園児との世代間交流を図った。

開催日	内容	参加者	場所
10月20日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員19名	野木幼稚園
2月1日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員20名	野木幼稚園



(4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

■社会福祉基金事業及び決算額

【726 千円 [2, 634 千円]】

1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を基に「社会福祉基金」を設置し、その果実等の運用により在宅福祉サービス、ボランティア活動の育成等を実施し、町民の社会福祉への参加と福祉向上を図った。

・善意の寄付受入について(基金指定)

預託内容	H26 実績	H27 実績	H28 実績
寄付件数 (件)	22	20	23
寄付金額 (円)	849, 272	533, 770	626, 097

■資金貸付事業及び決算額

【430 千円 [411 千円]】

1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、世帯の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
貸付件数 (件)	31	41	31
償還件数 (件)	83	79	64

資金の種類・貸付件数 (件)	H26 実績	H27 実績	H28 実績
生活一時資金	22	38	30
医療・介護一時資金	0	0	0
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	9	3	1
合計	31	41	31

■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【90 千円 [87 千円]】

1 事業の概要

栃木県社協の受託事業として、他の貸付制度が利用できない低所得者世帯や障がい者・高齢者世帯に資金の貸付事務や相談支援を行い、経済的自立や生活の安定を確保した。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
相談件数 (件)	11	21	17

資金の種類・貸付件数 (件)	H26 実績	H27 実績	H28 実績
総合支援資金	1	0	0
福祉資金 (福祉費)	0	1	1
福祉資金 (緊急小口資金)	0	0	0
教育支援資金	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
合 計	1	1	1

■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【8,404 千円 [8,513 千円]】

1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

2 主要な施策

(1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活上の課題に対応し、助言・援助を行い、また、安定した生活が営めるよう、住民福祉の増進に努めた。今後は、さらに相談所の周知を図るため広報活動に努める。

相談種別	開設曜日・時間	相談員	相談内容
心配ごと相談	毎月第1・3水曜日 10:00-12:00	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員	日頃の悩みごとなど 日常生活に関する相談

法律（弁護士）相談	奇数月第3木曜日 10:00-12:00	弁護士	財産・扶養・土地・金銭 貸借・賠償・離婚等の 問題に関する相談
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護関係職員	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	ボランティア保険や社 会福祉支援活動等に関 する相談
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	生活資金や日常金銭管 理に関する相談

【心配ごと相談】	H26 実績	H27 実績	H28 実績
開所回数（回）	23	23	23
来談件数（件）	6	8	6

【法律相談】	H26 実績	H27 実績	H28 実績
開所回数（回）	6	6	6
来談件数（件）	29	30	24

【介護・高齢者相談】	H26 実績	H27 実績	H28 実績
総合相談件数（件）	149	178	193

・相談員研修会の開催について

町心配ごと相談員研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
1月30日	『ふれあい福祉総合相談における相談対応事例報告について』 報告者 町社会福祉協議会 総務係 鈴木 悠美 町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 伏木 敦子	8

県心配ごと相談員研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
3月2日	『精神疾患についての理解と対応』 講師 栃木県精神保健福祉センター 江口 里香氏 『心配ごと相談所の機能と相談員に期待される役割』 『心配ごと相談所の運営のあり方と相談員に必要な技法』 講師 国際医療福祉大学 教授 小林 雅彦氏	2

■外出支援サービス事業及び決算額

【279 千円[406 千円]】

1 事業の概要

日常生活における常時車いすを使用している方（高齢者で肢体不自由等）で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎することにより在宅福祉の充実を図った。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数（名）	20	17	13
移送回数（回）	80	98	76

■配食サービス事業及び決算額

【1,417 千円 [1,300 千円]】

1 事業の概要

ボランティアの協力により、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等にお弁当の宅配（月4回 毎金曜日）を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食回数】 毎金曜日 月4回（昼食弁当）

【配食協力者（ボランティア）人数】 44名

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数（名）	60	59	61
配食数（食）	1,890	1,928	1,981

■ふれあいサロン事業及び決算額

【2,978千円[2,778千円]】

1 事業の概要

地域における高齢者等が、住み慣れた地域の中で孤立することなく、生きがい活動をおし、元気に安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い・助け合い活動のもと、日常的なふれあいや交流を行う場づくりの推進を目的とし、サロンの設置及び地域における自主的運営を担う組織・団体に対し助成・支援を行った。さらに、小地域におけるサロンの実施の普及を図るべくサロンの立ち上げのための広報活動・担い手の発掘等地域理解の推進に努めた。

サロン名	会 場	開所数 (回)	延参加者数 (名)	主な内容
松原サロン	松原第二 コミュニティセンター	46	701	地域の方(高齢者等)が気軽に集い、おしゃべりやお茶会で楽しいひと時を過ごす。 【体を動かす】 ・軽体操・ラジオ体操・散歩 ・ボール運動・柔軟運動 ・太極拳・ストレッチ・お手玉他 【レクリエーション】 ・フォークダンス・歌クイズ ・輪投げ・ダーツ・マジック ・茶会・川柳朗読・踊り・歌 ・早口言葉他 【カルチャー】 ・体の講話・野菜作りの話 ・保健師の話・施設見学 ・口腔、食生活の話他 【ものづくり】 ・折り紙・小物づくり ・クッキング他 【健康づくり】 ・健康チェック (血圧測定・健康相談他)
丸林サロン	土地区画整理 記念会館	47	560	
野渡サロン	野渡 コミュニティセンター	25	250	
潤島サロン	潤島 コミュニティセンター	36	510	
野木サロン	野木会館	24	308	
佐川野サロン	佐川野上公民館	23	272	
中古屋サロン	中古屋 コミュニティセンター	25	220	
新橋西サロン	新橋西1集会所	24	391	
新橋東サロン	新橋東集会所	24	323	
丸林西サロン	丸林西会館	22	213	
川田サロン	川田 集落センター	13	123	
ひふなサロン	野木1-2集会所	22	68	
北斗サロン	北斗自治会館	24	364	
<input type="checkbox"/> 各サロン会場により特色ある季節行事や合同行事等を実施				

■居宅介護支援事業及び決算額

【18,128千円 [17,091千円]】

1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた人のケアプランを作成し、関係各所との連携強化を図りながら、要介護者の自立した在宅生活を支援した。

【介護支援専門員数】 3名

居宅サービス計画 (ケアプラン) 作成	H26 実績	H27 実績	H28 実績
作成件数 (件)	976	971	990
要介護認定調査	H26 実績	H27 実績	H28 実績
調査件数 (件)	1	3	2

■居宅介護等事業及び決算額

【21,923千円 [17,280千円]】

1 事業の概要

指定訪問介護事業所として、各種制度に基づくホームヘルプサービスを行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅生活を支援した。

【訪問介護員数】 6名

訪問介護サービス提供 (介護)	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数 (名)	26	23	20
提供回数 (回)	2,026	2,024	2,239
訪問介護サービス提供 (予防)	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数 (名)	17	15	13
提供回数 (回)	565	638	579
訪問介護サービス提供 (自費)	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数 (名)	2	1	3
提供回数 (回)	9	2	9

・生活支援事業（訪問介護）

介護保険で、自立と認定された方に、訪問介護員を派遣し、家事等の援助及び相談等を行った。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数（名）	3	2	2
提供回数（回）	91	92	93

■障害福祉サービス事業及び決算額

【48 千円 [318 千円]】

1 事業の概要

障害者総合支援法制度における居宅サービス事業所として、日常生活に支障のある障がい者が地域で自立して生活できるよう家事や外出時の介護など日常生活を支援した。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
利用者実人数（名）	1	1	1
提供回数（回）	228	96	18

■指定管理事業及び決算額

【21,335 千円 [21,610 千円]】

1 事業の概要

高齢者の福祉を増進する事業の展開と施設機能の充実及び利用の促進を図り、適切な管理運営に努めた。

2 主要な施策

(1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいつくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
開所日数（日）	292	339	340
利用者総数（名）	31,843	34,020	31,483

(2) 野木町老人福祉センター事業

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康保持・増進と文化教養の向上を図るため各種事業を行った。

・生きがい講座（平成28年6月～平成29年2月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
パソコン	33	2	3	5
エコクラフト	18	0	15	15
合計	51	2	18	20

・健康体操教室（平成28年6月～平成29年2月）

開講回数（回）	受講者実人数（名）		
	男	女	計
33	0	30	30

・男の健康体操教室

開講回数（回）	受講者実人数（名）		
	男	女	計
19	8		8

(3) 第12回老人ペタンク大会・第38回老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5月19日	ペタンク	86	丸林中央公園 グラウンド
10月6日	輪投げ グラウンドゴルフ 玉入れ	260	丸林中央公園 グラウンド



(4) 老人福祉センター利用者数等別表による。（P32参照）

■地域包括支援センター事業及び決算額

【36,827千円[35,044千円]】

1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう支援するため、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等を実施した。

2 主要な施策

(1) 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のあるその人らしい安定した生活を継続できるよう支援するため、総合相談支援事業、ケアマネージャー支援、予防給付対象者の介護予防支援計画作成等を行った。

【専門職員数】 6名

社会福祉士	2名
保健師	1名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	3名

①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスに繋ぎ、継続的に支援するなど総合的な相談に応じた。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
実態把握	19	24	21
総合相談	149	178	193
認知症相談	34	33	46
権利擁護相談	9	8	10
虐待相談	5	4	16
介護認定申請等	34	44	53
福祉用具住宅改修	41	32	26
関係機関への連絡等	2,186	2,370	2,504
見守り支援	178	141	86
その他	203	248	150
件数（件）	2,858	3,082	3,105

②権利擁護業務

権利擁護業務へつないだ実績件数 7件

③包括的・継続的ケアマネジメント支援・指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるように、介護予防サービス事業者等と連絡・調整を図り、プランを作成した。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
作成件数 (件)	2, 127	2, 323	2, 355

・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内 容	参加者数 (名)
5 月 18 日	講話会「認知症の理解と対応を知る ～実際のケースから」 講師 古河赤十字病院 精神保健福祉士 坂田 文吾氏	34
8 月 18 日	情報交換及び検討会 「総合事業について・認知症ケアパスについて」 講師 町健康福祉課 高齢対策係	13
11 月 17 日	情報交換会 「在宅医療、介護連携推進事業について」 「地域ケア会議・どこでも連絡帳の活用について」	12

④介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）への移行に向けた勉強会・研修会等

開催日	内 容	場 所
4 月 26 日	野木町生活支援体制整備勉強会	町役場
4 月 18 日 5 月 20 日 6 月 23 日 7 月 27 日 8 月 30 日	野木町介護予防・日常生活支援総合事業勉強会	町役場
11 月 16 日	新しい総合事業研修会	宇都宮市
2 月 2 日	野木町介護予防・日常生活支援総合事業説明会	町役場
7 月 9 日～10 日 12 月 17 日～18 日	認知症初期集中チーム員研修	東京都
12 月 10 日	認知症サポート医フォローアップ研修	宇都宮市

(2) 介護予防事業などの実施

①通所型介護予防事業の実施

二次予防事業対象者が要介護状態等になることを予防するため、介護予防教室プログラム（運動器機能向上、口腔機能向上）への参加案内をするとともに、教室を開催した。

	H26 実績	H27 実績	H28 実績
実施回数 (回)	36	36	24
延人数 (名)	308	364	244

②家庭科教室事業の実施

高齢者の介護予防を目的に、様々な献立の調理方法等を学び家庭でも実践できるよう、料理教室を開催した。

開催日	内容	参加者数(名)	場所
9月9日	《学び編》 栄養バランスの良い食事について学ぼう！ ご飯の味比べ	9	野木町公民館
11月25日	《応用編》 食材から調理するメニューを考えよう！	10	野木町公民館
12月9日	《実践編》 メニューを実際に作ってみよう	8	野木町公民館



(3) 安全・安心見守りネットワーク事業

町で実施する安全・安心見守りネットワーク事業において、包括支援センターの事業に関わる役割を担い、関係機関との情報提供・活動の支援に努めた。

■ デマンド交通運営事業及び決算額

【15,723千円[16,685千円]】

1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない住民の交通手段を確保するための乗合タクシーの運行事業の運営を受託。また、運営にあたっては住民の利用の促進と利便性の確保及び快適に利用できるよう努めた。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市） ※友愛記念病院へは、行きのみ
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行時間	午前8時～午後5時（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）

利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上） 300円、小人（小学生以下） 200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後4時30分 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く

(1) デマンドタクシー利用者数等 別表による。(P33参照)

■日本赤十字社活動と共同募金活動

(1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤社員増強運動の実施（5月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤社員増強運動の実施（5月）

社員内訳	件数（件）			金額（円）		
	H26実績	H27実績	H28実績	H26実績	H27実績	H28実績
特別社員	11	9	7	23,000	19,000	14,000
一般社員	6,029	6,090	6,159	3,028,900	3,059,350	3,095,300
寄付	703	618	596	192,083	170,844	163,873
合計	6,743	6,717	6,762	3,243,983	3,249,194	3,273,173

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	1	50,000
熊本地震義援金	10	77,376
糸魚川市大規模火災義援金	1	100,000

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

- ①赤い羽根共同募金運動の実施（10月）
- ②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間10月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績
世帯募金	6,743 世帯	6,777 世帯	6,742 世帯	2,649,913	2,665,415	2,653,515
街頭募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	33,215	45,722	24,322
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	5,801	6,825	7,829
法人募金	33社	25社	27社	177,900	179,000	141,000
設置募金箱	7ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	56,128	48,369	53,782
イベント募金		1ヶ所	1ヶ所		7,486	4,052
個人募金			1件			5,000
利息				136	124	132
合計				2,923,093	2,952,941	2,889,632

・義援金受付

(熊本地震災害義援金受入・送金) 26,100円(ふくしのつどい参加者チケット購入分)

■その他の支援活動（リサイクル関連）

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

平成28年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書（平成28年4月～平成29年3月）

区分 月	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)				1日平均 利用者数 (人)	利用団体数
						町内者		町外者			
						一般	小中学生	一般	小中学生		
H28/4月	29	2,818	2,722	96	9,400	66		30		97	209
5月	28	2,479	2,408	71	9,400	42		29		89	190
6月	30	2,891	2,798	93	11,400	61		32		96	218
7月	30	2,934	2,782	152	10,000	80	35	28	9	98	209
8月	28	2,236	2,045	191	11,900	104		87		80	178
9月	28	2,820	2,675	145	8,900	54	63	28		101	219
10月	30	2,657	2,586	71	6,300	53		18		89	227
11月	26	2,434	2,366	68	6,800	46		22		94	208
12月	27	2,409	2,303	106	3,300	67	28	11		89	202
H29/1月	27	2,589	2,554	35	3,800	25		10		96	198
2月	27	2,655	2,562	93	2,700	75		10		98	197
3月	30	2,561	2,457	104	3,500	60	35	9		85	217
合 計	340	31,483	30,258	1,225	87,400	733	161	314	9	93	2,472

—野木町デマンド交通利用状況報告書—

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)(平成21年度～平成28年度)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	プレゼン	合計
登録者数	男	62	105	163	61	45	68	12	130	102	60	31	41	28	914
	女	85	176	245	85	76	98	22	195	155	110	42	77	44	1,418
	合計	147	281	408	146	121	166	34	325	257	170	73	118	72	2,332
利用者数	男	15	40	61	26	19	23	4	45	29	15	14	15	10	317
	女	42	95	155	52	53	50	10	124	97	66	30	37	25	840
	合計	57	135	216	78	72	73	14	169	126	81	44	52	35	1,157
利用率	男	24.2	38.1	37.4	42.6	42.2	33.8	33.3	34.6	28.4	25.0	45.2	36.6	35.7	34.7
	女	49.4	54.0	63.3	61.2	69.7	51.0	45.5	63.6	62.6	60.0	71.4	48.1	56.8	59.2
	合計	38.8	48.0	52.9	53.4	59.5	44.0	41.2	52.0	49.0	47.6	60.3	44.1	48.6	49.6

運行日数	1,772
利用者数	61,161
平均/1日	34.5
登録者数	2,332

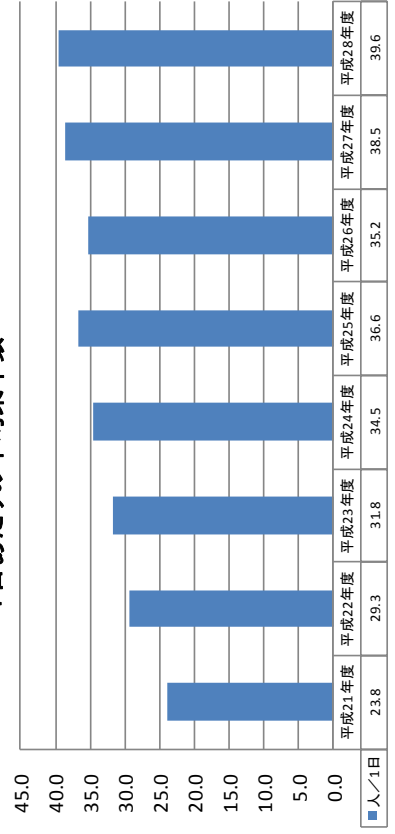
更新日:H29.3.31	(デマンド)
更新日:H28.3.14	(町)
登録者:死亡者数	191
登録者:転出者数	98

登録世帯数	1,403
-------	-------

2 月別利用者数・登録者数(平成28年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	20	19	22	20	20	20	20	20	19	19	20	22	241
利用者数	787	720	837	838	834	864	907	747	762	711	782	760	9,549
平均/1日	39.4	37.9	38.0	41.9	41.7	43.2	45.4	37.4	40.1	37.4	39.1	34.5	39.6
登録者数	13	9	25	9	10	10	18	12	7	21	16	16	166
シルバーカー持込者数	8	12	20	31	25	22	20	13	22	21	24	27	245
利用世帯数													415

1日あたりの平均乗車数



年度別登録者・利用者

